



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 太平製作所

コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神谷 慎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 桂山 哲夫

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,032	122.2	5	—	7	—	△15	—
26年3月期第1四半期	464	△56.7	△211	—	△192	—	△121	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △20百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △125百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△1.15	—
26年3月期第1四半期	△9.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第1四半期	7,592	—	3,124	—	41.1	232.71
26年3月期	6,578	—	3,197	—	48.6	238.21

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,124百万円 26年3月期 3,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期(予想)の配当につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,050	70.2	210	—	230	—	135	—	10.05
通期	5,600	49.7	240	—	280	—	165	144.8	12.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	15,000,000 株	26年3月期	15,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	1,575,530 株	26年3月期	1,575,530 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	13,424,470 株	26年3月期1Q	13,425,646 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続事業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により、企業業績の改善や雇用情勢の好転の動きが見られ、全体として緩やかな景気回復基調にありました。海外につきましては、米国では企業業績の改善に加え、雇用情勢や個人消費の回復により景気は緩やかな回復傾向にありますが、欧州諸国の債務リスクの長期化や中国経済をはじめとする新興国経済の先行き不透明感も大きく、依然として先行きが読めないまま推移しました。

当社を取り巻く事業環境は、補助金等の活用による新規設備投資の増加が見られるなど回復の兆しも見受けられましたが、新設住宅着工戸数が大きく落ち込む等、消費税増税の駆け込み需要とその後の反動の影響等による景気の減速懸念も完全には払拭されず、設備投資に対する見方は慎重なものとなっております。

このような状況のなか、当社グループといたしましては、オンリーワンの開発機械を業界のナンバーワン機械に押し上げ、顧客満足と業績の向上に努めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,032百万円（前年同四半期比122.2%増）となりました。利益につきましては、材料費の高騰と在庫の評価減の影響により営業利益は5百万円（前年同四半期は211百万円の営業損失）、経常利益は7百万円（前年同四半期は192百万円の経常損失）、四半期純損失は15百万円（前年同四半期は121百万円の四半期純損失）となりました。セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、積極的な営業活動と補助金施策も追い風となり受注が増加した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は532百万円（前年同四半期比257.4%増）となりました。営業利益につきましては、材料費の高騰や在庫の評価減の影響もあり、28百万円（前年同四半期は143百万円の営業損失）となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、積極的な営業活動により売上増加と受注確保に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は241百万円（前年同四半期比335.2%増）となりました。営業損失につきましては、材料費及び外注費をはじめとする製造コスト削減に努力しましたが、材料費等の価格高騰が現状も続いていることから、6百万円（前年同四半期は47百万円の営業損失）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、住宅建材業界に持ち直しの動きが一部見え始めておりますが、消費税増税前の駆け込み需要の反動や、売上計上時期が一部延期になったことなどから、当第1四半期連結累計期間の売上高は257百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。営業利益につきましては、ツーバイフォー部材の価格高騰が続いておりますが、徹底した原価管理を行った結果、10百万円（前年同四半期比80.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて22.9%増加し、5,576百万円となりました。これは主に、現金及び預金が581百万円増加、たな卸資産が333百万円増加、受取手形及び売掛金が121百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.1%減少し、2,016百万円となりました。これは主に、有形固定資産が13百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて15.4%増加し、7,592百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて40.2%増加し、3,808百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が387百万円増加、前受金が703百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、659百万円となりました。これは主に、その他に含まれるリース債務が9百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて32.2%増加し、4,468百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、3,124百万円となりました。これは、利益剰余金が69百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、政府の経済・金融政策により国内経済の動向は上向きになりつつあり、大企業の一部においては設備投資意欲も回復傾向にあります。消費増税に伴う国内景気の減速と、新興国を中心とした海外景気の下振れリスクは根強く、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況の中、積極的な営業活動による販売促進に努め、ほぼ計画通りの受注及び売上状況で推移しておりますが、当社の主力合板機械事業での大型機械は全て受注生産であることから、受注から売上に至るまでには長期間の納期が必要であることや、得意先の都合で機械が納入できないといった要因等もあり、売上が安定して計上することが困難な状況であります。

当社グループは、このようなリスクを出来るだけ少なくするように努めると共に、顧客ニーズに対応した機械の開発・改良に取り組み、得意先の設備が安全に稼働出来るようなバックアップ体制の構築に努めるなどグループ一丸となって経営の安定化に取り組んでまいり所存であります。

業績予想につきましては現在のところ平成26年5月14日に開示しました予想より変更等はありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,123,223	2,704,750
受取手形及び売掛金	1,017,054	1,138,689
有価証券	100,000	100,000
製品	110,088	76,301
仕掛品	860,378	1,230,042
原材料及び貯蔵品	201,872	199,968
その他	130,418	131,458
貸倒引当金	△4,042	△4,469
流動資産合計	4,538,992	5,576,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	669,411	660,539
土地	689,746	689,746
その他(純額)	221,250	216,756
有形固定資産合計	1,580,409	1,567,042
無形固定資産	49,163	45,646
投資その他の資産		
その他	415,359	408,869
貸倒引当金	△5,532	△5,532
投資その他の資産合計	409,826	403,337
固定資産合計	2,039,399	2,016,026
資産合計	6,578,392	7,592,767
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,064,267	1,452,187
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	133,000	133,400
未払法人税等	18,900	6,630
賞与引当金	56,994	42,308
役員賞与引当金	26,000	6,500
前受金	421,908	1,125,280
その他	145,479	192,546
流動負債合計	2,716,550	3,808,853
固定負債		
長期借入金	167,000	166,600
繰延税金負債	106,430	116,646
役員退職慰労引当金	10,439	11,236
退職給付に係る負債	184,418	179,512
その他	195,622	185,899
固定負債合計	663,910	659,895
負債合計	3,380,460	4,468,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	2,544,549	2,475,396
自己株式	△205,647	△205,647
株主資本合計	3,166,103	3,096,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,828	27,067
その他の包括利益累計額合計	31,828	27,067
純資産合計	3,197,931	3,124,018
負債純資産合計	6,578,392	7,592,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	464,522	1,032,085
売上原価	493,134	855,169
売上総利益	△28,611	176,916
販売費及び一般管理費	183,336	171,804
営業利益又は営業損失(△)	△211,948	5,111
営業外収益		
受取利息	221	72
受取配当金	1,595	1,603
鉄屑売却収入	1,580	525
保険解約返戻金	17,805	1,068
その他	1,855	2,374
営業外収益合計	23,058	5,644
営業外費用		
支払利息	3,918	3,325
その他	0	19
営業外費用合計	3,918	3,345
経常利益又は経常損失(△)	△192,808	7,410
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△192,808	7,410
法人税、住民税及び事業税	647	5,580
過年度法人税等戻入額	△7,195	△4,469
法人税等調整額	△64,823	21,754
法人税等合計	△71,371	22,864
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△121,436	△15,454
四半期純損失(△)	△121,436	△15,454

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△121,436	△15,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,389	△4,760
その他の包括利益合計	△4,389	△4,760
四半期包括利益	△125,825	△20,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△125,825	△20,215

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	149,019	55,516	259,986	464,522
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	149,019	55,516	259,986	464,522
セグメント利益又は損失(△)	△143,772	△47,432	5,929	△185,274

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△185,274
全社費用(注)	△26,673
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△211,948

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	532,571	241,611	257,902	1,032,085
セグメント間の内部売上高又は振替高	112	—	—	112
計	532,684	241,611	257,902	1,032,198
セグメント利益又は損失(△)	28,417	△6,659	10,684	32,443

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(再調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	32,443
全社費用(注)	△27,331
四半期連結損益計算書の営業利益	5,111

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。